9

フライングディスク

特徴 回転させて投げるディスク。 一般にフリスビーとも呼ばれている。

質出用具



ゴルフディスク

プラスティック製の硬いディスク



※ディスクゴルフの中間距離用で

コントロールしやすいディスク

直径21.5cm

150 g 前後

47枚



直径21cm

150 g 前後

48枚

※ディスクゴルフのパター用で やや軟らかいディスク

エアドッグ

ポリエチレン製のやや硬いディスク

※犬がキャッチしやすいディスク 人も投げやすく、キャッチしやすい



直径23.5cm

100 g 前後

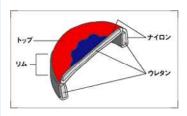
29枚

子どもがディスゲッターをする 場合、ゴルフディスクよりも軽 いし、エッジが丸いのでこちら を推奨してください。

ドッヂビー

ナイロン製の軟らかいディスク

ディスゲッター可





○ドッヂビー270 (直径27cm) 36枚

ディスクを使ってドッジボールなどに活用できます!

投げやすく、キャッチしやすい大きさで、小学生までの ほとんどがこのディスクを使用しています。

○ドッヂビー235 (直径23.5cm) 10枚 小型タイプのディスクで、風の抵抗が少ない分スピード が出ます。小さいのでキャッチはやや難しくなります。 主に中・高校生に人気があります。



3. アキュラシー

4. ディスクゴルフ などと併用も







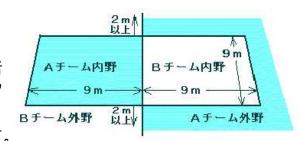
〇ディスクを使ってドッジボール!

●人数

ディスクドッヂは13人対13人で対戦します。

●ゲーム時間と勝敗

1ゲーム5分以上10分以内で、大会ごとに主催者 が決定。時間内に相手チームのプレーヤーを全員ア ウトにするか、ゲーム時間経過後、より多くのプレ ーヤーが内野に残っていたチームが勝ちとなります。



●内・外野の人数配置

ゲーム開始時には、内・外野共に1人以上を配置しなければなりませんが、何人配置す るかは自由です。ただし、最初から外野のプレーヤー(元外野)も、相手の内野プレー ヤーをアウトにしなければ内野に入ることはできませんので、よく考えて配置する必要 があります。

●ゲームの開始

ジャンケンをして、最初のディスクの所有権とコートを決め開始します。

●ゲームの進め方

ゲームの方法は、ドッジボールとほぼ同じです。

- (1) 顔や爪先など、体のどの部分にディスクが当たっても、アウト。
- (2) 必ずディスクをキャッチしたプレーヤーが、ディスクを投げなければなりません。
- (3) ディスクをキャッチしたプレーヤーは、5秒以内にディスクを投げなければなり ません。
- (4) 外野プレーヤーが、相手の内野プレーヤーをアウトにした場合には、すぐに内野 に入らなければなりません。
- (5) 地面を転がったり滑ったりしているディスクは、完全に自陣コートに入り込んだ 時、とることができます。

〇その他の活用!









ドッヂビーで ディスクゴルフ





ポートボール





ドッヂビーで

キックベーススタイル

ピッチングサークルから投げたドッヂ ビーを、バッターがバッティングサー クル内でキャッチ。バッターはキャッ チしたグリップ(握り)のまま投げる。 あとは野球のルールと同じ。



ドッヂビーでPK合戦

当たっても痛くないドッヂビーだか ら全員がキーパーにも挑戦できる。 投げ方や距離も自由に決めて遊んで みよう。直接ゴールネットに入れば OK。ワンバウンドは相手のポイント になるなど。



ドッチビーでガッツ

攻撃チームは相手チームに思い切りドッヂ ビーを投げ、守備チームは地面に落とさず にキャッチできればポイント。距離やチー ムの人数は自由に決めて楽しもう。最初は 両手でキャッチ、慣れてきたら片手キャッ チに挑戦してみよう。